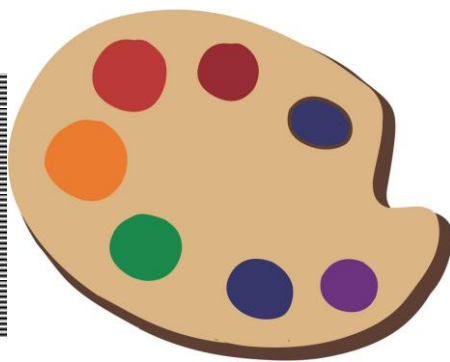


松伏二中 での マナヒカタ

中一美術

教科モットー
制作や鑑賞活動を通して、美術の楽しさを味わおう。



学び方の系統

2年及び3年

- ① 集中しながら主体的に、よさや美しさを表すことができるようにする。
- ② 目的や条件に応じて、豊かに発想し、構想を練り、計画的に制作することができるようにする。
- ③ 対象のよさや美しさを、人との関わりと造形的な視点から深く味わうことができるようにする。

1年

- ① よさや美しさを伸び伸びと表せるようにする。
- ② 豊かに発想し、構想を練るための力をつける。
- ③ 作品のよさや美しさを理解し、味わえるようにする。

教科のねらい

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な創造活動の能力を伸ばすとともに、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養います。

学年の学習内容

- ・私は未来の工芸家～民芸張り子作り 未来へのメッセージ入り～（工芸）
- ・風景画（水彩絵の具で風景画を描く）
- ・静物画（静物を鉛筆でそっくり描く）
- ・スケッチ

評価

- ① 関心・意欲・態度
授業の様子や、忘れ物状況、制作への集中度を評価します。定期テストの点数も加味します。
- ② 発想や構想の能力
A. スケッチなどで、よりよい構想ができていないか、計画的に手際よく制作を進められているかを評価します。
- ③ 創造的な技能
作品や表現活動の中で、丁寧に表現ができていないか、技法・用具等の効果的な活用ができていないか、作品の進み具合などを評価します。
- ④ 鑑賞の能力
作品を分析し、作品や制作への理解度や、作品、作者への共感ができていないか、印象や感動の表現ができていないかを評価します。定期テストの点数も加味します。

言語活動

思考力・判断力・表現力等を育む教科の取組

生徒の作品の良いところや工夫点を、発表させ、どこが良いのか、どのようなどころを工夫しているのか等を発表させる。また、ワークシートに記入させ、言語で表現についての感想を記入する。

学習計画

学期	月	学 習 事 項 こんなことを学びます	重要事項・ことば等	チェック
一学期	四月	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション ●民芸張り子人形作り ①郷土の張り子の歴史を学ぶ ②張り子作品の鑑賞 	郷土の歴史と文化を感じ取ろう。	
	五月	<ul style="list-style-type: none"> ②過去の作品の鑑賞 ③制作内容の確認 ④和紙をはさみで切り、色をつける ⑤張り子のかたちを考える 	「張り子」とは、素朴で暖かみのある人形のこと。	
	六月	<ul style="list-style-type: none"> ⑥油粘土で型をつくる ⑦型をコーティングする 	細かい表現はできない。デフォルメをし、丸みのあるデザインを考える。	
	七月	<ul style="list-style-type: none"> ⑦型をコーティングする ●郷土を描く ①参考作品の鑑賞、風景画の構図について、水彩絵の具の表現について 	<ul style="list-style-type: none"> 「構図」 「重色」 「タッチ」 	
	九月	<ul style="list-style-type: none"> ②「郷土を描く」鑑賞会 ●民芸張り子人形作り ③のりを作り、一番和紙を貼る 	風景画、提出期限厳守 和紙と和紙の間は、5ミリ前後重ねる	
二学期	十月	<ul style="list-style-type: none"> ⑨二番和紙（赤）を貼る ⑩三番和紙（緑）を貼る 	和紙を貼るスピードは、毎分4枚が基準。	
	十一月	<ul style="list-style-type: none"> ⑪陰干しをする ⑫型を二つに割る ⑬型を抜く 	カッターは安全に充分気をつける。	
	十二月	<ul style="list-style-type: none"> ⑭「未来へのメッセージ」の制作。 ⑮切り口の接合 ⑯陰干しをする ⑰接合面を隠す ⑱陰干しをする 	切り口の接合は、木工ボンドの原液を使用。	
	一月	<ul style="list-style-type: none"> ⑲絵付け・飾り付け ⑳作品の鑑賞会 	ポスターカラーで飾り付けをする場合は、下地剤「ジェッソ」を必ず塗る。	
三学期	二月	<ul style="list-style-type: none"> ●静物画 ①構図を考える ②鉛筆で明暗をつける 	画面に鉛筆でおおまかにバランスよくモチーフを入れる。暗くなっているところに陰をつける。	
	三月	鑑賞 ピカソについて	ゲルニカ、キュビズム、平和	

○この他に、「手のスケッチ」を行う場合もあります。
 ○夏休みには、松伏町の風景画を水彩絵の具で描く課題「郷土を描く」を実施します。
 よい作品は、美術展等に出品します。

ようこそ、美術の授業へ！

美術の授業は こう受けよう！

制作中の私語は禁止です。集中してよりよい作品をつくり上げましょう。

忘れ物をすると、制作に支障が出ますので、気をつけましょう。



授業を受ける前
受けた後
これだけはやって
おこう！

制作中わからないことがあったら、手を挙げて静かに先生に知らせましょう。

作品には必ず学年、クラス、出席番号、氏名を記入して、提出日に必ず提出しましょう。

授業を受ける前

生活の中で、授業でどのような作品をつくるか、どのような手順で効率よく仕上げるか考えておくといいでしょう。授業では、限られた短い時間で、道具の準備、制作、片付けを行いますので、制作時間に考えていると制作が進まない状態で授業が終わってしまいます。

授業を受けた後

授業の最後に、次の授業の持ち物を連絡します。一週間時間があるので、早めに準備し、前日にもう一度確認しましょう。

授業に持ってくるもの

- ・ 5点セット（教科書、美術資料集、筆記用具、スケッチブック、ファイル）
- ・ HB・2B・4Bの鉛筆

※ 毎回、次の授業の持ち物を連絡します。

忘れ物をすると制作ができません。忘れ物をしないようにすること。

各授業で評価に係わる大事な点

◇授業態度

チャイム着席、私語、忘れ物、発言、授業への取り組み方、作品の提出期限。

◇作品

授業等で制作した作品の完成度、ねらいに達する達成度、出来栄。

◇提出物等

作品、スケッチブック、ファイル、自己評価カード、その他などこれらを総合して評価します。定期テストも評価に加味します。